

とよはしの家計簿

～豊橋市の財政状況をわかりやすくお届けします～

第9刊

令和3年度

豊橋市行財政白書

概要版



はじめに

豊橋市では、市の財政状況や行財政改革の取組みなどを市民の皆さまにわかりやすくお知らせするために、平成9年度から3年に一度「豊橋市行財政白書」および概要版であるこの「とよはしの家計簿」を発行しています（今回が第9刊）。

本書を通じて、豊橋市の行財政について多くの市民の皆さまのご理解をいただければ幸いです。

目次

- 豊橋市の財政について 2
- 市の収入をみてみよう 3
- 市の支出をみてみよう 4
 - コラムⅠ 家計簿に例えると、どうなる？
 - コラムⅡ 最近よく聞く、SDGsってなに？
- 基金（＝貯金）の状況をみてみよう 6
- 地方債（＝借金）の状況をみてみよう 7
 - コラムⅢ 生活に身近な費用はいくら？
- 財政の健康状態をみてみよう 9
- 豊橋市の財務諸表について（令和2年度決算） 11
- よりよい行財政運営を目指して 12

用語解説



普通会計とは

各市町村はそれぞれ会計の範囲などが異なるため、単純な比較が困難です。そこで、市町村間の比較を行うために国が定めた統計上の会計区分である「普通会計」を用いることがあります。6～7ページ、9～10ページは普通会計によって他市との比較をしています。

中核市とは

都市の事務権限を強化するため人口規模によって定められた日本の都市制度の1つであり、人口20万以上の要件で政令により指定を受けた都市をいいます。全国に令和2年度末時点で60市（令和3年4月時点では62市）、豊橋市は平成11年度に中核市となりました。

※各項目の数値は表示単位未満を四捨五入で処理しているため、合計と内訳の数値が一致しない場合があります。

※「とよはしの家計簿」と別に作成している「豊橋市行財政白書」は、様々な指標について他市との比較を中心に掲載しているため、普通会計による数値が多く、同様の用語でも数値が異なる場合があります。

豊橋市の財政について

財政とは

市役所では、市民の皆さまが快適に生活できるよう、様々な**行政活動**を行っています。行政活動に必要なお金を、どこから調達し、どのように使うかを決めて、円滑な行政活動が行えるようにすることを**財政**といいます。

予算とは

1年間の収入と支出の見積りの中で、市民の皆さまからの税金などを財源として、どのような事業を行っていくかを決めたものになります。豊橋市の予算は大きく3種類（=会計）に分かれており、それぞれ収入・支出の計画である予算を立て、やりくりをしています。

令和4年度各会計別当初予算額

一般会計

1,303億2,000万円（対前年度2.8%減↘）

福祉や教育、道路整備など、基本的な行政サービスを提供するための会計

特別会計

690億9,800万円（対前年度4.0%増↗）

一般会計と区別する必要がある特定の事業を行うための会計（全6会計）

- | | |
|----------------------|-------------|
| ● 競輪事業特別会計 | 239億2,700万円 |
| ● 国民健康保険事業特別会計 | 336億8,400万円 |
| ● 総合動植物公園事業特別会計 | 16億 200万円 |
| ● 公共駐車場事業特別会計 | 1億6,400万円 |
| ● 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計 | 3,000万円 |
| ● 後期高齢者医療特別会計 | 96億9,100万円 |



企業会計

671億6,500万円（対前年度0.2%減↘）

水道事業など、民間企業と同じ経理方式で運営する会計（全3会計）

- | | |
|-----------|-------------|
| ● 水道事業会計 | 99億7,900万円 |
| ● 下水道事業会計 | 166億3,600万円 |
| ● 病院事業会計 | 405億5,000万円 |

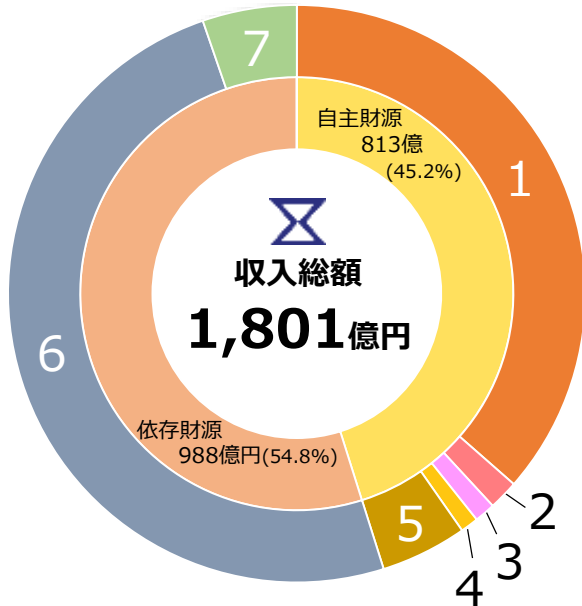


市の収入をみてみよう

市の収入にはどのようなものがあるのでしょうか。
令和2年度の一般会計（決算）を例に、豊橋市の収入をみてみましょう。

一般会計歳入

市民の皆さまに納めていただいた市税が3割以上を占めています。
残りは、国や県からのお金（国県支出金）や借り入れたお金（地方債）などです。
※令和2年度はコロナ関連経費の増のため、国県支出金が大幅な増となっています。



自主財源 市が自主的に収入できる財源など **813 億円** (45.2%)

- 1 [市税] 656 億円
市民のみなさまに納めていただいた税金
- 2 [使用料・手数料等] 30 億円
施設の使用料や行政サービスの手数料など
- 3 [繰越金] 21 億円
前年度から繰り越されたお金
- 4 [繰入金] 18 億円
積み立てた基金（貯金）を取り崩したお金
- 5 [その他] 87 億円
市の財産を売ったり貸したりしたお金など

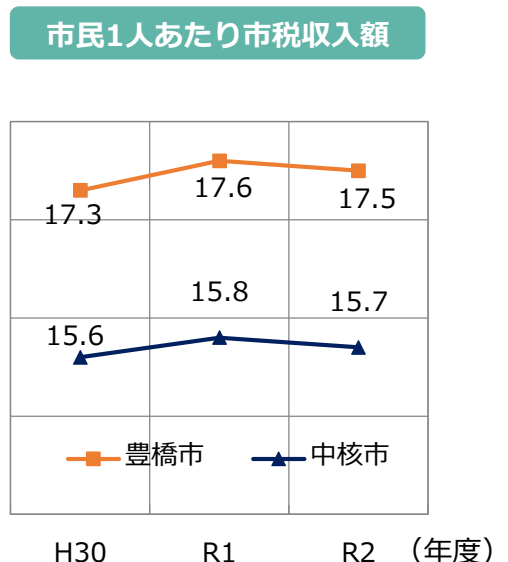
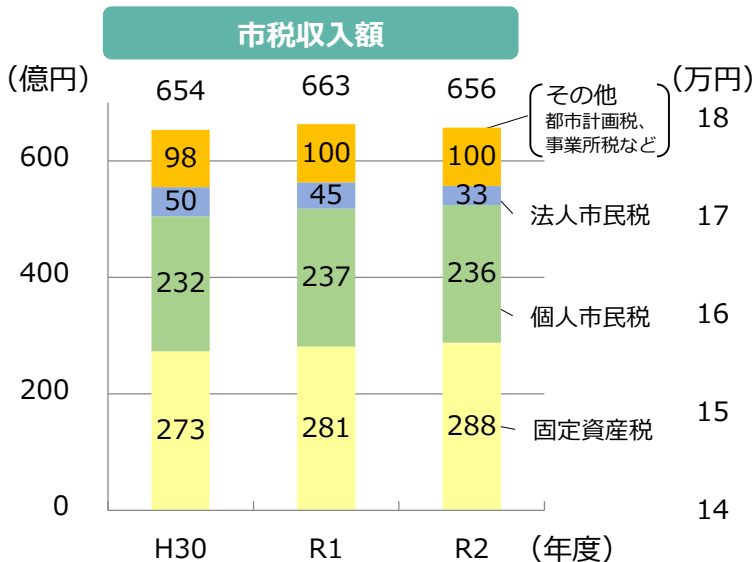
依存財源 国や県から交付される財源など **988 億円** (54.8%)

- 6 [国県支出金、交付金] 892 億円
国や県から交付されたお金
- 7 [地方債] 95 億円
施設整備などのために借りたお金

※収入総額のうち、新型コロナウイルス感染症対策経費の財源は、**440億円**です。

市税の中身は？

土地・家屋にかかる固定資産税と個人市民税の割合が大きく、あわせて約8割を占めています。また、豊橋市と同じ「中核市」の平均と比べ、市民1人あたりの市税収入額は1万5千円以上多いことがわかります。



市の支出をみてみよう

市の支出を「どんな経費に使ったの?」「何のために使ったの?」という2つの視点でみてみましょう。

一般会計歳出 [性質別]

必ず支払わなければならない義務的経費（扶助費、人件費、公債費）の割合が大きいほど、財政の硬直化が進んでいることを示します。
※令和2年度は特別定額給付金の皆増のため、補助費等が大幅な増となっています。



義務的経費 法令や性質により支出が義務付けられている経費 **655 億円**

- ① [扶助費] 353 億円
子どもや高齢者、生活困窮者などを支援する費用
- ② [人件費] 214 億円
市職員の給料や退職金などの費用
- ③ [公債費] 89 億円
借り入れたお金の返済のための費用

義務的経費以外 **1,094 億円**

- ④ [補助費等] 483 億円
特別定額給付金や団体等への補助金
- ⑤ [投資的経費] 226 億円
道路や学校、公共施設の整備などの費用
- ⑥ [物件費] 203 億円
物品の購入や光熱水費などの費用
- ⑦ [繰出金] 134 億円
基準により特別会計・企業会計に支出する費用
- ⑧ [その他] 49 億円
基金への積立金や貸付金などの費用

※支出総額のうち、新型コロナウイルス感染症対策経費は**445億円**です。

一般会計歳出 [目的別]

子育てや福祉、道路の整備、教育、健康増進など幅広い分野にお金が使われています。
※令和2年度は特別定額給付金の皆増のため、総務費が大幅な増となっています。

総務費 495億円

防災・市役所の運営等に
一人当たり**131,862円**



民生費 537億円

子育て・福祉・医療に
一人当たり**143,085円**



衛生費 161億円

健康増進・ごみ処理に
一人当たり**42,878円**



商工費 70億円

産業・観光振興に
一人当たり**18,613円**



土木費 174億円

道路・河川・まちづくりに
一人当たり**46,367円**



教育費 161億円

学校教育・社会教育に
一人当たり**42,941円**



公債費 89億円

借り入れたお金の返済に
一人当たり**23,663円**



その他 62億円

消防活動・議会運営などに
一人当たり**16,629円**



一般会計全体では、一人当たり**466,037円**となっています。 R3.1.1時点 375,329人にて計算



コラムⅠ 家計簿に例えると、どうなる？

令和2年度の決算を月収40万（年収480万円）の家庭に例えてみました。給料だけではまかなえず、借金や貯金を使ってやりくりしています。また、収入と支出の差額は翌月（翌年度）に繰り越しています。

| 収入 | | | 支出 | | |
|--------------|------------|----------------------|--------------|------------|-----------------------|
| 親からの援助 | 〔国県支出金等〕 | 19万8千円 | 子どもへの仕送り | 〔補助費等・繰出金〕 | 13万7千円 |
| 給料 | 〔市税〕 | 14万6千円 | 家族の医療費 | 〔扶助費〕 | 7万8千円 |
| パート収入 | 〔使用料・手数料等〕 | 2万6千円 | 食費 | 〔人件費〕 | 4万8千円 |
| 借金 | 〔地方債〕 | 2万1千円 | 光熱水費・日用品 | 〔物件費〕 | 4万5千円 |
| 前月からの繰越 | 〔繰越金〕 | 5千円 | 家の修理、増改築 | 〔投資的経費等〕 | 5万円 |
| 貯金の引き出し | 〔繰入金〕 | 4千円 | ローンの返済 | 〔公債費〕 | 2万円 |
| | | | 貯金 | 〔積立金〕 | 7千円 |
| | | | その他 | 〔貸付金等〕 | 3千円 |
| 収入の合計 | | 40万円 | 支出の合計 | | 38万8千円 |
| 貯金残高 | 〔基金残高〕 | 年収480万円に対し 28万3千円 | ローン残高 | 〔地方債残高〕 | 年収480万円に対し 267万9千円 |

※特別定額給付金をはじめとする新型コロナウイルス感染症対策事業の実施により、親からの援助（国県支出金等）及び子どもへの仕送り（補助費等・繰出金）の割合が高くなっています。

収入が支出を上回っているのに、どうして借金をするのか？という疑問はP7を見てね！



コラムⅡ 最近よく聞く、SDGsってなに？

SDGsとは

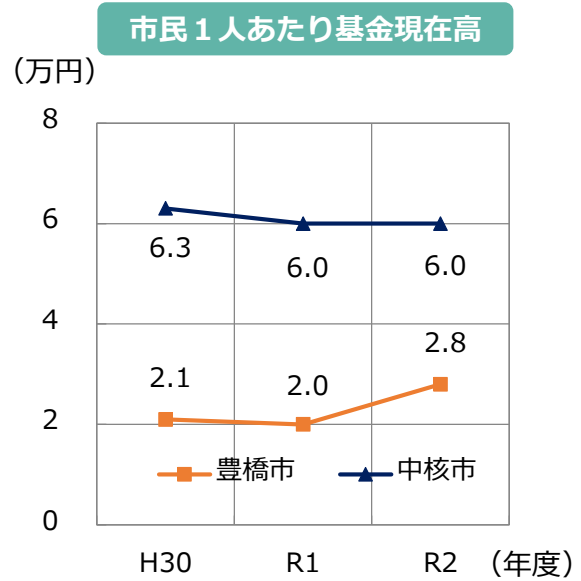
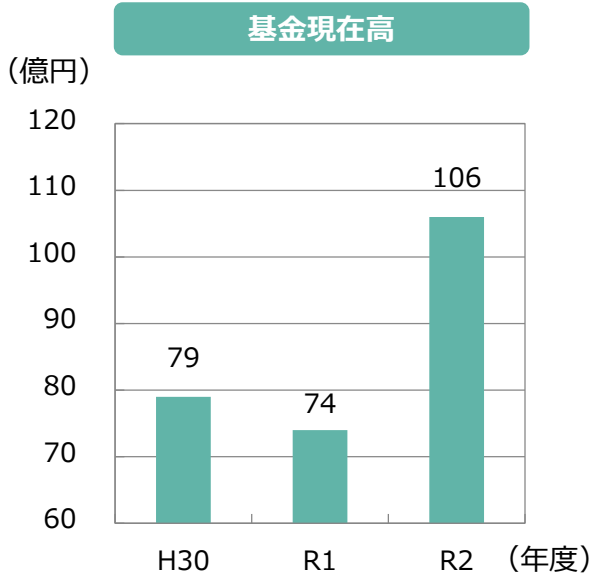
SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。17の目標と169のターゲットで構成され、「誰一人として取り残さない世界の実現」を基本理念に掲げています。



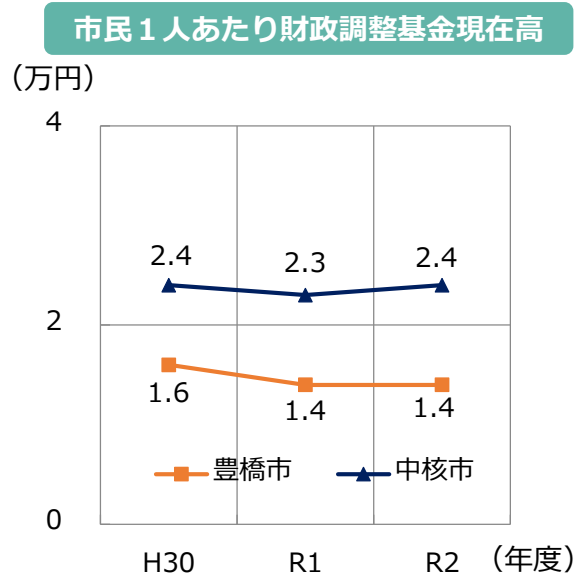
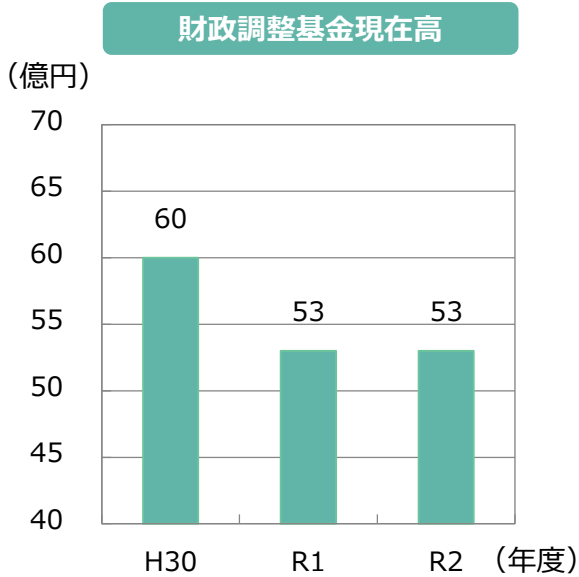
基金（＝貯金）の状況を見てみよう

基金は、特定の目的のために財産を維持したり、積み立てたり（取り崩したり）、あるいは定額の資金を運用するために設けられるものです。令和2年度末には、27（特別会計所管基金・定額基金含む）の基金があります。



基金現在高は、平成25年度以降、減少傾向にありましたが、新たな基金の設置や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などの活用などにより25年度（115億円）と同水準となっています。

令和2年度末の市民一人当たりの基金現在高は2万8千円と、中核市60市中52位となっており、中核市の中では低水準で推移しているため、「歳入の確保」や「歳出の見直し」のための様々な取組みを進めています。



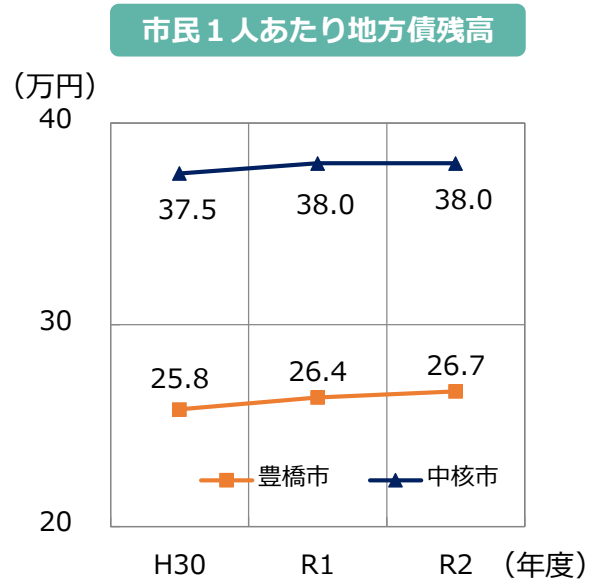
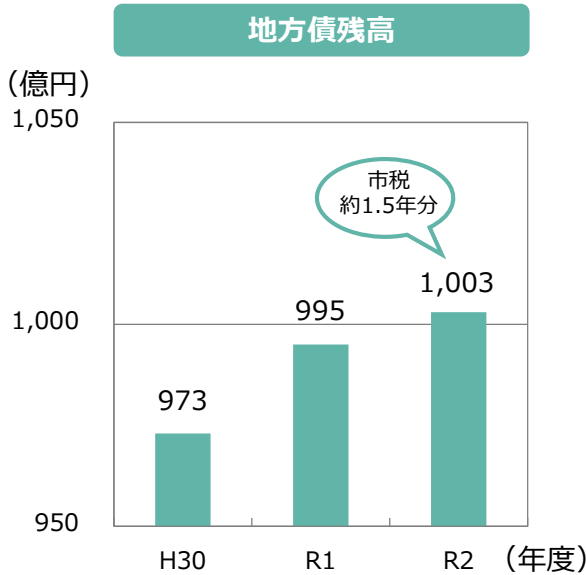
財政調整基金とは

年度間の財源調整や社会や経済状況の変化などに対応するために積み立てられた基金です。中核市一人当たりの基金現在高と比較すると、豊橋市は平均を下回っています。

地方債（＝借金）の状況を見てみよう

地方債（市債）とは、市が財政上必要とする資金を、外部（国や金融機関など）から調達することによって負担する債務（借金）のことです。原則として、道路や公共施設の整備費などの財源とする場合に発行することができます。

借りたお金は整備したものの耐用年数に従い、返済しています。



小中学校校舎をはじめ、まちなか図書館、斎場、道の駅とよはしなどの施設整備を進めたほか、令和元年度には小中学校への空調整備を実施したことから、大幅に増加しましたが、市民1人あたりに換算すると、中核市平均を下回っています。

今後も公共施設の老朽化対策として、多くの整備費用がかかることが予定されていますので、引き続き、返済額とのバランスに注意した計画的な借り入れを行っていきます。

● どうして借金をするの？

公共施設の整備には多くの費用がかかりますが、その年度だけで払ってしまうと他の行政活動ができなくなってしまう恐れがあります。また、施設は何十年も使いますので、地方債を活用して分割払いすることで、今住んでいる市民だけでなく、将来施設を利用する市民も含めて負担を平等にしています。



コラムⅢ 生活に身近な費用はいくら？

予算の使いみちがより実感できるように、身近な生活の中で使われている費用について、令和2年度決算額でいくつか紹介します。

一般財源額は、事業にかかる支出額から、事業のために得た収入額（特定財源）を差し引いた額で、市民の皆さまに納めていただいた市税などでまかなう部分です。

文化・スポーツ施設の運営に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：4,057円
一般財源：3,790円

施設の利用料などだけではまかなえず、市が年間で14億円を負担しています。



高齢者福祉に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：26,817円
一般財源：22,035円

令和2年度の高齢者福祉に要した事業の決算額は、101億円となりました。



こども医療に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：3,510円
一般財源：2,745円

令和2年度の受診件数は延59万件でした。安心して子育てができる環境を整えるため、総額13億円のうち、市が10億円を負担しています。



保育所等の運営に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：32,739円
一般財源：12,891円

保育園や認定こども園等の運営・整備などに一般財源を活用し、安心・安全な保育・教育を行っています。



ごみ処理に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：12,398円
一般財源：10,490円

ごみ処理に、47億円の費用がかかっています。引き続き、ごみの減量・分別にご協力をお願いします。



公園の維持管理に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：2,283円
一般財源：1,541円

みなさんの憩いの場である公園は市内に408か所、全部で300ha以上あります。



市立小中学校の運営に要した費用 (児童生徒一人あたり年間)

事業費：189,361円
一般財源：73,928円

令和2年度の児童生徒数は3万1千人、全74校の運営費は59億円となりました。



新型コロナウイルス感染症対策に要した費用 (市民一人あたり年間)

事業費：118,664円
一般財源：1,516円

新型コロナウイルス感染症対策には、国や県からのお金を活用し、事業を実施しています。引き続き感染症対策へのご協力をお願いします。



R3.1.1時点 375,329人にて計算

財政の健康状態をみてみよう

● 財政の健康状態を示す健全化判断比率

市の財政状況（健康状態）を客観的に判断する指標として「健全化判断比率」の公表が法律で義務付けられています。

ここでは、全部で4つある健全化判断比率のうち、2つをピックアップして、令和2年度の数値をみてみましょう。

実質公債費比率 ●○○

地方債（借金）
の返済は大丈夫？



令和2年度： **3.8%** < 中核市60市中、比率が低い方から21番目 >

- 収入に対する年間返済額の割合をあらわす「実質公債費比率」は3.8%となりました。
 今後は、比率を高めないためにも、計画的な地方債の借入れが必要です。
- 国が定める早期健全化基準(25.0%)を大きく下回っており、財政の健全性が保たれているといえます。

家計に例えると

実質公債費
比率

=

年間の
借金返済額
年収

将来負担比率 ●○○

将来の市民の負担は
どれくらい？



令和2年度： **42.4%** < 中核市60市中、比率が低い方から32番目 >

- 収入に対する将来の返済予定総額（地方債や複数年契約による支払いなど）の割合をあらわす「将来負担比率」は、42.4%となりました。
- 国が定める早期健全化基準（350.0%）を大きく下回っており、令和2年度は前年度から8.4ポイント改善しました。
 今後も注意しながら健全化の取組みを進めていきます。

家計に例えると

将来負担
比率

=

ローンなどの
返済予定総額
年収

● 健全化判断比率の推移

健全化判断比率の年度ごとの推移をみてみましょう。上で紹介した2つの指標のほかに、「実質赤字比率」と「連結実質赤字比率」という指標がありますが、どちらも赤字はなく、4つある健全化判断比率すべて青信号を維持しています。

国が定める危険ライン

| 区分 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 早期健全化基準 | 財政再生基準 |
|----------|--|--|--|---|--|
| | ● ○ ○ | ● ○ ○ | ● ○ ○ | ○ ● ○ | ○ ○ ● |
| 実質赤字比率 | 赤字なし (3.90%) | 赤字なし (5.02%) | 赤字なし (6.40%) | 11.25% | 20.0% |
| 連結実質赤字比率 | 赤字なし (24.63%) | 赤字なし (25.32%) | 赤字なし (27.27%) | 16.25% | 30.0% |
| 実質公債費比率 | 3.8% | 3.7% | 3.8% | 25.0% | 35.0% |
| 将来負担比率 | 49.9% | 50.8% | 42.4% | 350.0% | |

※ () 内は黒字比率を記載しています。

● 財政の余裕を示す2つの指標

これまで紹介してきた指標のほかにも、市の財政状況をあらわす様々な指標がありますが、ここでは、「**経常収支比率**」と「**財政力指数**」という重要な指標について紹介します。

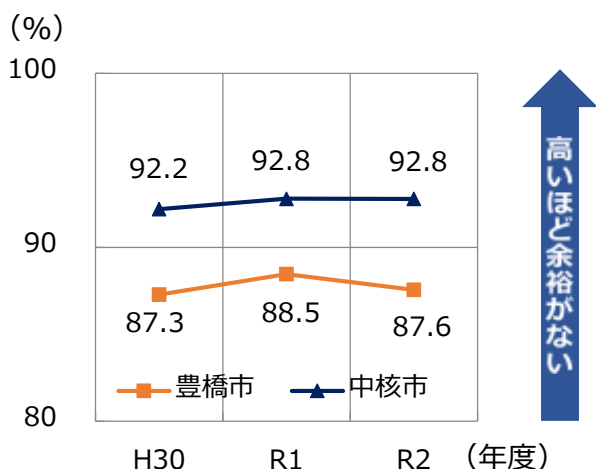
経常収支比率

新たな行政活動を行うための余裕はある？



令和2年度：**87.6%** 〈中核市60市中、比率が低い方から8番目〉

- 経常的な収入のうち一般財源（市税や地方譲与税など、用途が限定されていないもの）に対する、毎年支払う経常的な経費の割合をあらわす「経常収支比率」は、87.6%となりました。



家計に例えると

経常収支比率

生活の中で必ずかかる費用
(食費や家賃等)

給料など

- 比率が高いほど、新たな行政活動を行う余裕がない（財政構造の弾力性が小さい）ことを示します。
- 中核市平均より低い値を維持していますが、福祉などにかかる扶助費が毎年増えており、財政の硬直化には注意が必要です。

財政力指数

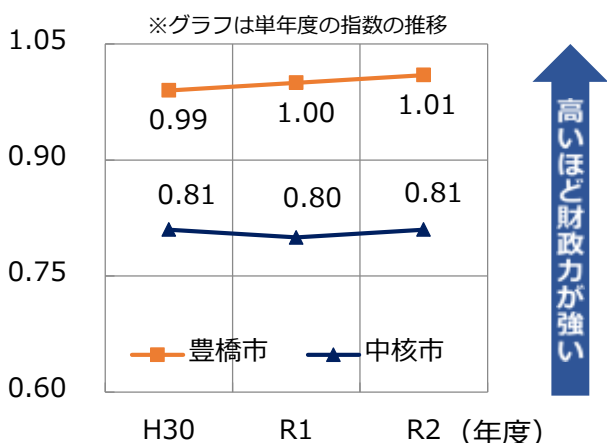
愛知県の市町村は比較的財政力指数が高いんだ！



令和2年度(単年度)：**1.01** 〈中核市60市中、比率が高い方から3番目〉

- 市町村の財政力を示す「財政力指数」は、国の規定によって算出した標準的な需要額に対する標準的な収入額の割合(市の運営費に対して、どのくらいの収入があるか)をあらわす指数です。

令和2年度(単年度)は1.01となりました。(一般的には、3か年の平均値を用います。)



家計に例えると

財政力指数

給料など

標準的な生活に必要な費用

- 数値が高いほど財政力が強いことを示し、1を下回ると収入が不足する状態として、国から「地方交付税」が交付されます。
- 豊橋市は財政力指数が高く、令和元年度、2年度と**不交付団体**となっています。

豊橋市の財務諸表について（令和2年度決算）

平成28年度決算から国の統一的な基準による財務諸表を作成しています。この財務諸表を活用して、従来からの市の決算情報だけでは把握できない資産や負債の情報、減価償却費などの見えにくいコストを捉えることが重要になっています。

財政状況を把握する4つの表

貸借対照表

保有する資産や将来負担することとなっている負債を、ストック情報として総括的に表したものです。

行政コスト計算書

一会計期間に実施された資産形成につながらない行政活動の状況を、コスト（資源の消費）という側面から把握するものです。

純資産変動計算書

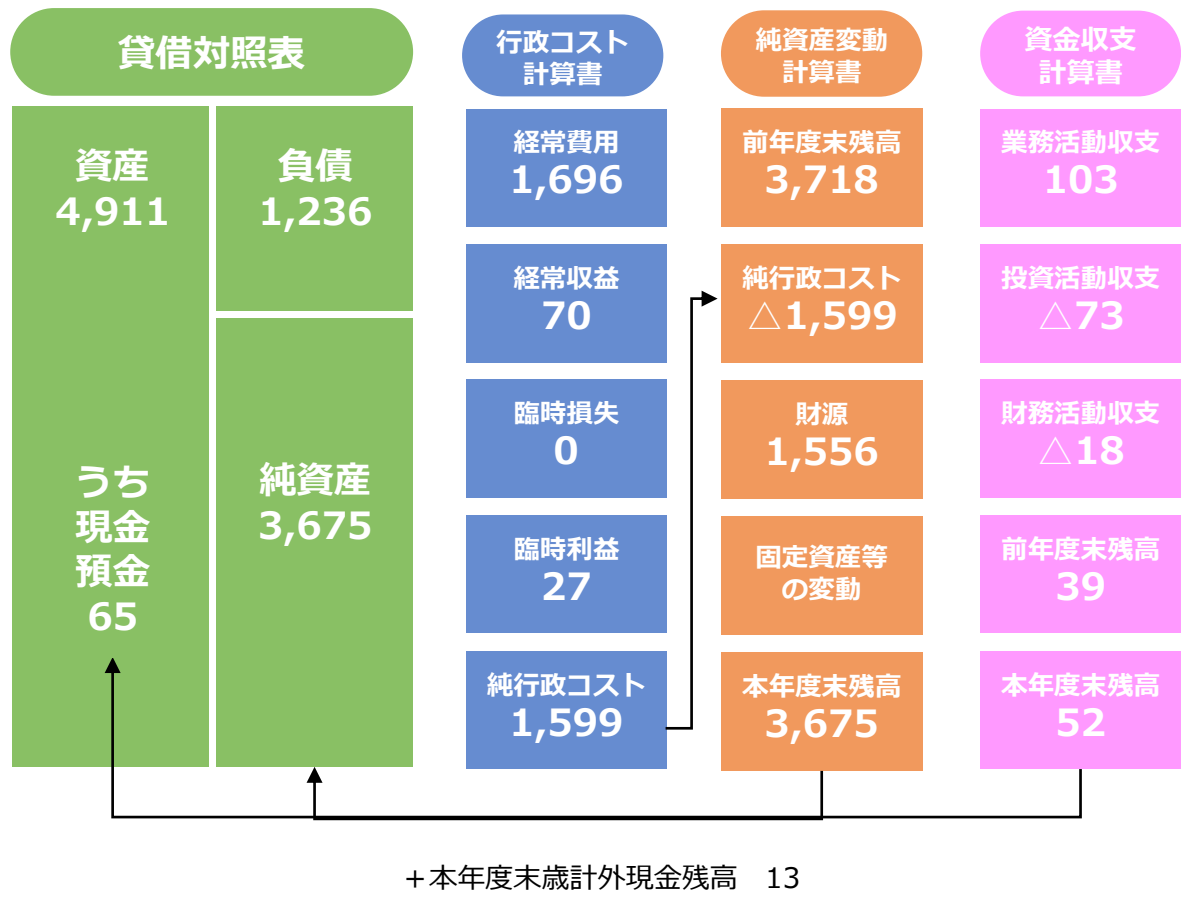
純資産（資産額から負債額を控除した正味の資産額）の一会計期間の動きを明らかにし、その増減を表すものです。

資金収支計算書

一会計期間における資金増減の状況を明らかにするもので、資金の獲得、配分状況や債務支払能力の評価等に活用されます。

財務諸表の相互関係

単位：億円



※本頁では、一般会計と母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計からなる「一般会計等」を対象範囲とした財務諸表を紹介しています。
詳しくは市ホームページ (<https://www.city.toyohashi.lg.jp/8816.htm>) をご覧ください。

よりよい行財政運営を目指して

変化が激しく先行きが見通しにくい社会情勢の中、市民サービスの水準を維持しながら、時代に対応した人づくりやまちづくりを進めるために、健全な財政運営とともに、効率的な行政運営が不可欠です。

このため豊橋市では、「行財政改革プラン2021-2025」を策定し、「持続可能でスマートな行財政運営の実現」を目指す姿として、実現に向けた改革を進めています。

行財政改革プラン2021-2025の概要

目指す姿

持続可能でスマートな行財政運営の実現

計画期間

令和3年度 ~ 令和7年度

目標

限られた経営資源を的確に配分するとともに、更なる収入の増加を図る。

財政運営

- 財政調整基金残高 53億円（令和元年度） ▶ 75億円（令和7年度）
- 純資産比率（一般会計等） 75.2%（令和元年度） ▶ 73.0%（令和7年度）

行政運営

時代の変化に適應できる、簡素で効率的な行政体制の構築を図る。

- 職員1人当たりの1か月平均の時間外勤務時間数 13.4時間/月（令和元年度） ▶ 12時間/月（令和7年度）
- 人口1万人当たりの職員数（普通会計）の中核市内での順位 15位を維持（令和元年度～令和7年度）

主な施策

プランに定めた様々な施策を通じ、財政・行政運営の目標を達成します。全19の施策のうち、主なものを紹介します。

安定した自主財源の確保

安定的な歳入の確保のため、市税の収納対策を着実に行いつつ、地域経済の活性化や雇用創出等による税源の涵養に取り組みます。また、ふるさと寄附など様々な形での自主財源の確保を進めます。



施設保有量の適正化

老朽化した公共施設や道路等インフラの将来的な維持・更新費用の低減かつ平準化を図るため、第2次施設廃止計画に基づく施設廃止や小中学校を核とした複合化モデル事業を実施し、施設保有量の適正化を図ります。



人材の育成と確保

高度化・複雑化する行政課題に対応するため、職員一人ひとりの能力向上を図るとともに、必要な能力を持つ人材を確保し、活用します。



行政手続のデジタル化の推進

市民の利便性と事務の効率性の向上のため、申請手続のオンライン化や対面・書面・押印規制の見直しなど行政手続のデジタル化を推進します。





とよはしの家計簿

令和4年3月発行

令和3年度豊橋市行財政白書（概要版）

編集・発行 豊橋市財務部財政課

〒440-8501 豊橋市今橋町1番地

電話 (0532) 51-2117

F A X (0532) 55-6385

E - mail zaisei@city.toyohashi.lg.jp



「豊橋市 行財政白書」で検索

豊橋市 行財政白書



<https://www.city.toyohashi.lg.jp/2527.htm>